

特別ふろく 3年

重要ことわざ

& 慣用句

120

中学入試対応

青菜に塩

急に元気がなくなり、しよんぼりする。

悪事千里を走る

悪いことはすぐにみんなに広まる。

蛇蜂取らず

二つを欲張ると、どちらにも手に入らない。

雨垂れ石を穿つ

小さなことでも、やり続ければ成功する。

雨降って地固まる

悪いことが起こった後は、かえって前よりも良くなる。

案ずるより産むが易し

やってみると意外と簡単にできる。

石の上にも三年

苦しくてもがまんしていれば、必ず成功する。

石橋を叩いて渡る

とても用心深く行動する。

医者の不養生

人には立派なことを言うが、自分は実行しないでためになる。

急がば回れ

急いで危険な近道を行くよりも、安全で遠い道のほうがかえって早い。

一か八か

運にまかせて、思い切つてやってみる。

一を聞いて十を知る

ちょっと聞いただけで、全部を理解する。

一寸先は闇

先のことはどうなるかわからない。

一寸の虫にも五分の魂

小さくても意地があるからばかにできない。

犬も歩けば棒に当たる

① 動いた分だけ意外な幸運にであう ② 余計なことをして悪い目にあう

井の中の蛙大海を知らず

世間知らず。見方や考え方がせまい。

魚心あれば水心

相手が自分を好きになつてくれるなら、自分も相手を好きになる。

牛に引かれて善光寺参り

人からのさそいで良いことが起こる。

馬の耳に念仏

どんなに注意しても効き目がない。

雲泥の差

とても大きなちがい。

海老で鯛を釣る

小さなもので大きな利益を得る。

鬼に金棒

強いものがさらに強くなる。

鬼の目にも涙

冷たい人でもときにはやさしくなる。

帯に短し褌に長し

中途半端で役に立たない。

溺れる者は藁をもつかむ

とても困っているときは、たよりにならないものでもたよってしまう。

親の心子知らず

親が子を大切に思う気持ちも知らないで、子は勝手なことをする。

飼犬に手を噛まれる

面倒を見ていた相手に裏切られる。

蛙の子は蛙

子どもは結局親に似る。

蛙の面に水

何を言われても、何をされても平気。

揚げ足を取る

言いまがいを責める。からかう。

足がすくむ

こわくて動けなくなる。

足が付く

手がかりから犯人がわかる。

足が出る

お金が足りない。損をする。

足が早い

① 食べものがぐさりやすい ② 商品がよく売れる

足が棒になる

足がとてもつかれる。

足元にも及ばない

相手がとてもすぐれていて、勝てない。

足元を見る

相手の弱いところを見つけて、自分の思いどおりにする。

足を洗う

悪いことをやめて、真面目に生きる。

足をのばす

① もっと遠くに行く ② 体を休めて、ゆったりする

足を引く張る

人のじやまをする。

呆気にとられる

意外なことにおどろきあきれられる。

油を売る

むだ話をして、なまける。

息を呑む

はつとおどろく。

一目置く

相手のほうがすぐれていると認めて尊敬する。

一石を投じる

問題を投げかける。

犬も食わない

とてもきらわれる。相手にされない。

浮き足立つ

こわくなって、げ出しそうになる。不安で落ち着かなくなる。

雨後のたけのこ

次々と同じようなことが起こる。次々と同じようなものができる。

腕が鳴る

力を見せようとやる気になる。張り切る。

腕を磨く

練習して上手になる。努力して強くなる。

うどの大木

体だけ大きくて役に立たない人。

馬が合う

気持ちがぴったりと合う。仲が良い。

瓜二つ

顔や姿がよく似ている。

お株を奪う

ある人が得意なことを、他の人がもっと上手くやってしまう。

尾を引く

後々までえいきようする。

顔が売れる

有名になる。広く知られる。

顔をしかめる

苦痛でいやな表情をする。

肩身が狭い

はすかしい。



